

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ▼言語関連法案審議を巡る動き

・2日、リトヴィン最高会議議長は、今会期中に言語関連法案に関する審議は行わない意向を表明。これに対し、同日、エフレーモフ地域党最高会議会派代表は、会期内に審議される可能性に言及。

・3日、最高会議は、本会議において地域党議員提案の「国家の言語政策の基本方針に関する」法案を議員450名中248名の賛成により採択。同日、「統合野党」は、同法案の採択に抗議、野党会派は今会期の最高会議には出席しない旨決定。同日、キエフ市内「ウクライナ・ハウス」前に集結した野党支持者と機動隊との間で衝突が発生。野党支持者は、4日以降も同所で抗議集会を継続。

・4日、リトヴィン最高会議議長及びトメンコ同副議長は、辞意を表明。同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、予定されていた2012年上半期総括記者会見を中止し、最高会議幹部及び各会派代表との会合を実施、議会の状況が安定しない場合には繰り上げ選挙の手続きを開始する必要があるとし、言語関連法(の署名)に関しては専門家による報告を精査した上で判断する旨発言。

・4日、最高会議は、同議長の選出及び解任を議会過半数で可能とする「最高会議規定の変更に関する」法律を255名の賛成により採択。

・5日、エフレーモフ地域党最高会議会派代表は、議会において採択された法律への署名を議長が拒否した場合には、司法機関に訴える可能性を排除しない旨発言。一方、6日、リトヴィン最高会議議長は、言語関連法への署名を行わない意向を表明、問題解決にはヤヌコーヴィチ大統領が同法案の詳細確認及び修正作業を行うよう最高会議に呼びかけ、野党会派も同法案審議に参加する必要がある旨発言。

・6日、最高会議は、リトヴィン同議長の辞任決議案の議題掲載を却下、一方トメンコ同副議長の辞任決議案の議題掲載を承認。

#### ▼その他の議会の動き

・3日、リトヴィン最高会議議長は、NUNS議員1名の辞職、別のNUNS議員2名の地域党への加入、及び無所属議員1名のBYT加入を宣言。地域党議員は194名、BYT議員は101名に増加、NUNS議員は62名に減少。

・5日、最高会議は、同議員選挙の際の全投票所へのウェブ・カメラ設置を目的とした「2012年10月28日最高会議議員選挙の公開性、透明性及び民主主義の保証に関する」法律を承認。

・6日、マルティニューク最高会議第一副議長は、最高会議第6召集第10会期の終了を宣言。次回第11会期は9月4日開始予定。

#### ▼大統領の動き

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、最高会議に年次教書「2012年のウクライナ内外情勢」を提出、2010年に始まる国家及び経済改革の継続、欧州統合路線等を強調。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、人文評議会の会合に出席、少数民族問題解決の必要性に関し発言。

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、クリムキン外務次官の後任にオレフィロフ新外務次官を任命。

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、欧州サッカー選手権(ユーロ2012)閉会記念式典に出席。

・6日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ドネツク州を訪問、ドネツク州創立80周年記念セレモニー等に出席。

#### ▼野党の動き

・5日、「統合野党」は、最高会議選挙における小選挙区の候補者リストの一部(52名)を発表。

・6日、ヤツェニウク「統合野党」評議会代表は、ヨーロッパ広場において「統合野党」による全ウクライナ「ヤヌコーヴィチに反対するウクライナ」運動の開始を宣言。

#### ▼その他

・1日、「国境なき記者団」は、ウクライナにおける言論の自由度が急激に悪化している旨報告。

#### ▼世論調査

[ラズムコフ・センター]

・次の日曜日に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(投票意思の無い者を除く、括弧内は回答者の自宅での調査結果)

統合野党「バチキフシナ」:27.9%(26.2%)、地域党:23.9%(28.3%)、「ウダール」党:8.7%(10.8%)、共産党:7.4%(7.7%)、「スヴォボーダ」党:5.4%(3.9%)、「ウクライナー前進」党:4.7%(3.3%)等

・調査は6月16日から6月25日にかけて街頭において2,005名、自宅において2,009名の成人を対象に実施。

### 2. 経済

#### ▼財政・金融

・4日、最高会議は、閣僚会議から要請のあった、農業分野開発にかかる中国からの3億ドル借り入れを承認(6月28日、ウクライナ農業政策・食料省と中国輸出入銀行との間でメモランダムを締結)。

## ▼IMF

・2日、ライスIMF対外関係局長は、先週のリプトンIMF第一副専務理事とコロボフ・ウクライナ財務相との会談を受けて、リプトン第一副専務理事が、対ウクライナ支援プログラムの目的を満たすため、ウクライナ政府による財政強化、エネルギー改革及び金融部門改革を含んだ行動が必要であることを確認した旨発言。

## ▼農業

・5日、アザロフ首相は、国内生産者からの穀物の安定的な買い取りを補償するため、穀物輸出は10～15年の長期契約が望ましい旨発言。

・5日、プリシャジニク農業政策・食料相は、新市場年(2012年7月～2013年6月)における穀物生産量見通しを4,700万トン、輸出量見通しを昨市場年とほぼ同量の2,200～2,300万トンと発言。

## ▼ガス問題

・2日、ボイコ・エネルギー・石炭産業相は、モスクワにおいてミレル露ガスプロム社長と会談。双方は、ガス分野における戦略的協力に関し協議。

## ▼その他

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、最高会議に提出した年次教書において、様々な経済分野において中国からの投資・技術を引きつけることがウクライナと中国の協力における優先事項である旨発言。

・5日、コレスニコフ副首相兼インフラ相は、暫定的な集計では、欧州サッカー選手権期間中、180万人がウクライナを訪問し、訪問者は平均400ドルを消費した、また同選手権準備のために約50億ドルが費やされた旨発言。

・5日、オレクセイ国家知的財産保護局第一次官は、中国とオーディオ・ビジュアル演奏・演技に関する合意を締結した旨発表。同合意では、オーディオ・ビジュアル製品の使用における演技者・演奏者の知的財産権を確保。

## 3. 外政

### ▼欧州サッカー選手権(ユーロ2012)決勝戦関連

・1日、キエフにおいてユーロ2012決勝戦(伊対西)が開催された機会にウクライナを訪問したモンティ伊及びラホイ西両首相は、連名でヤヌコーヴィチ大統領に対しティモシェンコ前首相及び前政権の閣僚に対する裁判が好ましい形で決着し、また、伊及び西大使とティモシェンコ前首相との面会が実現することを希望する旨の書簡を送付。

・同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、コモロフスキ・ポーランド大統領と会談し、ユーロ2012の準備及び実施はウクライナにとり有益な経験であり、ポーランドとの共同作業は効果的に実施された旨発言。

・同日、リトヴィン最高会議議長は、ボルセヴィチ・ポーランド上院議長と会談。両者は、ユーロ2012の開催及び両国議会間協力の状況を高く評価。リトヴィン議長は、ウクライナの内政状況を説明し、ボルセヴィチ議長は、ポーランドはウクライナの欧州統合路線を今後も支持するとし、最高会議選挙の民主的实施への期待を表明。

### ▼ルツェンコ元内相による提訴に対する欧州人権裁判所判決

・3日、欧州人権裁判所は、2010年11月のルツェンコ元内相の逮捕は違法であり、政治的動機に基づくものと認められ、ウクライナ政府に対し同元内相に慰謝料15,000ユーロを支払うよう命じる判決を下した旨発表。

### ▼ケルティ・スーダン外相の来訪

・3日、アザロフ首相は、ウクライナを訪問中のケルティ・スーダン外相と会談し、ユーロ2012を開催したウクライナの建設分野の経験を提供する用意がある旨発言。両者は、両国政治対話の強化及び外交協力の深化等に関し協議。

・同日、グリンチェンコ外相は、ケルティ外相と会談し、貿易・経済、エネルギー、農業及び文化の分野における協力関係発展に関し協議。ケルティ外相は、ウクライナにスーダン大使館を開設する意向である旨発言。

## 4. 防衛

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、政府が近代的かつ専門的な軍隊の構築にあらゆる努力を傾注しており、軍改革の第一段階として、軍における人材育成及び軍人・家族・年金受給者の社会的保護が政府にとっての最重要課題である旨発言。

・3日、国防省は、ザマナ参謀総長率いる軍事代表団がカザフスタンを訪問、軍事技術協力の発展、両国軍隊の改革と発展に関し協議する旨発表。

・5日、シュルヘイエフ・ウクライナ国連代表は、ウクライナがシリアの国連ミッションへの参加可能性を検討している旨発言。

・5日、最高会議は、コンゴ民主共和国への平和維持部隊の派遣に関し2013年6月30日まで延期する法案を採択。また6日、同会議は、リベリア等への平和維持部隊参加のための法案を採択。

(了)